

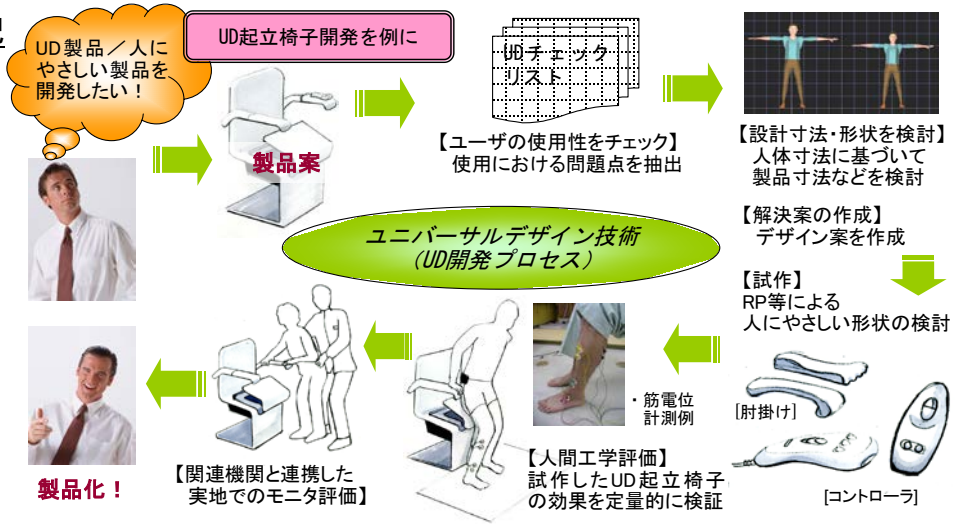
ユニバーサルデザイン<sup>→P52</sup> (UD)

で多くの人に使いやすさを！

- ▶ 研究期間：平成 16 年度～18 年度（県費研究）
- ▶ 研究所の研究成果
  - ユニバーサルデザイン（UD）開発手法の構築
  - UD 移動用サポート製品を開発
  - UD 駐車場製品・UD 景観製品を開発
- ▶ 連携体制：技術移転先企業との共同研究

成果の概要・活用状況

- より多くのユーザーにとって「使いやすく、魅力的なデザイン」を提供するために「ユニバーサルデザイン開発プロセス」を構築しました。
- 次の例のように多くの県内中小企業に活用されています。



◆活用例

■サポートベンチ/カウンター

公共空間において、座ったり、寄りかかったりと様々な体格の人の様々な休憩姿勢を支持します。



■乗降用手すり

大型 1 BOX タイプの乗降用手すり。±10 度のゆるやかな手すり角度により安全・確実に乗降動作をサポートします。



■背負式エンジンブロワ

海外使用を想定し、体格に適合する設計と機械重心位置変更により、肩部圧迫と痛みを軽減します。



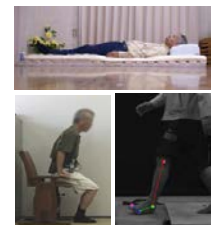
■姿勢保持具

介護現場のニーズから任意配置の頭部・背部・腰部サポートを開発。送迎車両や食事の際の姿勢保持が可能です。



■生活用品 マットレス・椅子・靴下など

寝返りのしやすさ、立ちやすさ、歩きやすさなど使いやすい製品開発に活用されています。



研究開発のポイント

多様なニーズの最適解を求めるために、個人の適合性のデータから多くのユーザーの適合性を予測する方法が重要です。人間工学評価と設計・試作をサイクル化することでこの課題を解決することができました。

研究開発のきっかけ

県内メーカーでは、少子高齢社会において使いやすく魅力的なものづくりが求められています。ユーザ視点による一貫した開発プロセスにより、今後、重要視される「新しい使いやすさ」の創出に寄与します。